



TANEGASHIMA
MEDICAL CENTER
種子島医療センター

HEIJIRO

2023 夏
令和 5 年 8 月 10 日
第 66 号



回復期リハビリ病棟作品「蝶々」

もくじ

-  P1…高尾院長の講話より
-  P2…島田先生より寄稿・短歌
-  P3…下園先生より肺炎について
-  P4…嚥下体操の紹介
-  P5…新入職員の紹介
-  P6…看護業務功労者の紹介／熱中症にはご注意ください！
-  P7…職員募集のお知らせ

種子島医療センター HP



高尾院長 6月の講話より

希望と危険に満ちた高齢者たち

コロナ禍では住民を守るため懸命に戦ってきた私たち。さてマスクから解放された今、マスク着脱をいつ、どのようにすれば良いのか？戸惑う心に自分ながら可笑しさを感じる。3年間で長かったのか？短かったのか？何とも不思議な時間を過ごしたものだ。マスク生活が幻だったかのように、コロナ禍での負の記憶が一つひとつ抜け落ちていく日常が戻ってきた。

さて、本院での救急患者の多くは高齢者である。脳神経外科で脳卒中、外科はイレウス、穿孔など、整形外科では骨折が代表である。一昔前では、手術に踏み切れなかった80歳以上の高齢者でも手術が可能となり積極的な治療が推進されている。医療技術の進歩は離島にまで及んでいるのである。また、高齢者をケアする技術も進んでいる。リハビリテーションは先端医療に必要不可欠となってきた。幸い本院では高齢者に質の高いリハビリが実践されている。

一方、高齢者医療の進歩は素晴らしいのだが、必ずしも希望だけがあるのではない。そこには危うい医療が隣り合わせで大きな口を開けている。近年問題となっている「処方カスケード」である。

「処方カスケード」とは、服用している薬による有害事象が新たな病状として誤認され、それに対して新たな処方が生まれる処方の連鎖のことで、ポリファーマシーと共に高齢者にとって大きな危険となっている。これは一つの医療機関、一人の医師の処方によっても生じる。処方カスケードが疑われる場合には、服薬情報提供や疑義照会などを通して、原因薬剤の減量や中止を提案し、負の連鎖を断ち切ることが重要である。

- ・漫然とした処方薬の投与を止めよう
- ・服薬アドヒアランスに注意し服用状況の把握に努めよう
- ・医師と薬剤師の連携による処方医へのフィードバックや処方提案をしよう

私たちは、高齢者を処方カスケードから守ろう！

高尾院長 7月の講話より

発熱の夏 ～安全に、迅速に、命を救う季節～

梅雨が明けると爽快な青空と海と緑の種子島になる。だが、今年の夏はこれまでの夏とちよつと違うようだ。

2類から5類へと、コロナ禍から脱出できた（我々が勝手にそう考えた）・・・オミクロン君の警告通り（このウイルスには2類も5類も関係ない）、コロナ患者が再び増加し始めた（第9波だ）。さらに、インフルエンザも同調したかのように急増している。職員も感染しているが、小児の感染が急増している。ウイルス干渉を唱えていた学者たちは沈黙？米国の小児科医によれば、子供にとって3年間のウイルスフリーの生活は、解除後に種々のウイルス感染急増のハイルスクを伴うとの警告が現実となってきた。

種子島の人口が急増している。多数の馬毛島工事関係者が入島しているからなのだが、人口急増には感染拡大をはじめ様々な弊害が伴う。この島ではあり得ないと思われることだが、治安悪化や住居確保への不安が広がっている。医療の視点から見ても予期せぬ感染拡大という人口増加による大きな負荷が私たちにのしかかる。

さて、夏の救急と言えは熱中症だ。高齢化比率が増加している種子島では、室内といえども要注意だ。また、炎天下の馬毛島で工事に従事する方々にはリスクが高い。予防、早期対応に繋がればと、「市政の窓7月号」に熱中症の広告を掲載した。とにかく、発熱外来はこれまでより忙しくなりそう。特に、感染による発熱か、熱中症による発熱なのか、の鑑別は重要だ。熱中症は緊急治療が鉄則。車内待機は危険であることを心して対応しなければならぬ。

憂鬱な事ばかりではない。

今後急増する covid-19 / インフルエンザと熱中症に対して、3年に及ぶコロナ禍で検査と治療に奔走した発熱・救急外来システムの経験が再び活かされる。看護師不足の中、外来患者へのクラークシステムの努力と進化、広報活動の推進と改善。さらに、急性期病棟の看護体制、地域包括ケア病棟および回復期リハビリ病棟の看護・リハビリ体制が進化・改善している。

安全かつ迅速に命を救う為、種子島医療センターの結束とパワーで「発熱の夏」を乗り越えよう。

楽 し み 短 歌

悲惨な戦いの島・ブーゲンビル島に遺骨収集団が派遣されることになった。旧第二内科に派遣医師の要請があり、叔父が戦死していたので応募した。弾薬も食料も無く熱帯病に苦しみながら逃げ惑うだけの中を生き延びた元兵士らが中心の収集団であった。

収集初日が叔父の戦死の地、ルンバだった。原住民が死体のあり場所を知っていて案内してくれた。椰子の葉の間からここだと言わんばかりに覗いているような人の前歯を見つけたとき、戦友らは泣き崩れた。

ルンバの小山の斜面一帯に死体が転がっていた。収集して帰ろうとするころ、椰子の落ち葉の間から握り拳大の小石が見えた。じつとこちらを向っているようだった。銃弾に撃たれた叔父の血を吸った小石と思われた。大事に持ち帰った。

それから、四半世紀が過ぎるころブ島の遺骨収集の様子を歌に詠みたくなった。短歌が湧き出てくるようだった。正式に短歌を学ぼうと本屋にいき、入門書を求め、一方、コスモス短歌会に入会した。そして、師匠の指導をうけながら、歌集「ブーゲンビルの乳」を上梓した。幸いに、第28回出版文化賞を戴いた。

以来、短歌誌「コスモス」を中心に短歌を詠んでいる。

コロナ禍で巣ごもりなどをしていたら、新聞の歌壇に挑戦したくなった。10年くらい前も試みたことがあったが、三首しか入選しなかったので止めていたが、再挑戦したくなった。応募しても応募してもなかなか入選しない。

たまに選ばれるようならお祝いだ。

朝日歌壇は全国で読まれているので、入選すると思わぬところから反応がある。

あるときは、東京在住の方から西之表が故郷の地名であるし、紘一が弟の名前と同じで懐かしく、弟にも連絡したと便りがあった。

その弟様にはすでにお目にかかっていて名前の由来など語っている方だった。この方は、自分は短歌をつくらないが読むのが好きだとおっしゃる。そして、たまに入選すると朝、祝いのメールをくださる。西之表は朝刊が午後2時に配達されるので、結果が早くわかるので入選のときはうれしいが良し悪しだ。

新聞を広げるときのときめきがなくなった。メールがなければ落選と早々にわかる。したがって、新聞も見ない。

先日は、朝日歌壇の担当者から問い合わせがあった。52年前大学闘争でインターンの大学立てこもり運動があり、京都で立てこもった。

その時知り合った方から、しまだなにがしは同一人物かどうかの問い合わせであった。それを確認したいとの連絡であった。まさしく、知っている方だった。三重県在住で朝日歌壇の愛読者だった。52年ぶりのテレサイカイであった。

人生の終末期にかかる交流があると傷だらけの生き方が修復されていくようで、大団円を迎えられそうだ。

インターネットでは、「ブーゲンビル島遺骨収集全国派遣団」昭和43全国ソロモン会 यूチューブで見られる。

ルンバの小石と歌集は、桐箱に収めてある。

(鹿児島県医師会報 新春随想 令和3年1月号より)



島田先生の
短歌紹介

くりかへし議決のさまを放映す

基地化決定のその瞬間を



“ 肺炎 ” について



肺炎とは？

肺炎とは、細菌やウイルスが肺に感染することでおきる急性の炎症のことです。「肺炎」という名がつく病気には例えば他に間質性肺炎、薬剤性肺炎などがありますが、これらは感染症ではありませんのでまた別の病気となります。

肺炎は令和4年の死因順位で第5位の病気であり、6位の「誤嚥性肺炎」と合わせると全体で4位となります。「誤嚥（ごえん）」とは食べ物や水分が誤って気管に入ってしまうことで、飲み込みの機能が落ちている高齢者で特に問題となります。



原因は？



肺炎の原因となる細菌やウイルスは様々ですが、市中で起る肺炎と病院内や介護施設で起る肺炎とは少し異なります。

病院や介護施設で起る肺炎は、基礎疾患のある方や高齢の方が発症するケースが多く、抗菌薬に耐性があったり、重症化しやすい菌のケースがあります。

どんな症状？



肺炎の症状には、発熱、せき、たん、呼吸困難、胸痛などがあります。

ただし、高齢者の場合は、時に肺の症状があまりなく食欲低下や意欲の低下などが主な症状のことがあり、肺炎を疑いにくいことがあるので注意が必要です。

診断の方法は？



肺に炎症が生じるとレントゲンで陰影が映るため、胸部レントゲン検査を行います。場合によっては胸部CT検査が必要になることもあります。肺炎が疑われれば、痰の培養検査を行って原因となる菌を調べたり、血液検査で白血球数や炎症反応を調べる検査を行ったりします。

治療は？



肺炎の治療は、原因となっている微生物に対する抗菌薬の投与が基本です。痰の培養検査で原因となる菌が同定できれば、それに応じた抗菌薬を選択します。症状によっては外来での内服治療も可能ですが、重症であったり、肺の陰影が広範囲で酸素吸入が必要であったりする場合に入院の上点滴による抗菌薬投与が必要になります。

あわせて、全身状態を改善させる治療も必要になります。血中の酸素濃度が低下している時は酸素の吸入が必要となり、誤嚥が原因となっている場合は一時的に食事をストップして点滴で水分や栄養を補給する場合もあります。肺の中に貯まった痰を外に出すためのリハビリや、誤嚥を改善させるために言語聴覚士による嚥下訓練を行うこともあります。

肺炎は今や年代にかかわらず身近な病気です。前述したように症状は咳や痰などの呼吸器症状に限らず、重症化すると命の危険もあるため、異常を感じた際はいつでも内科へご相談ください。

リハビリテーション室より えんげ 嚥下体操

1. 深呼吸



鼻から息を吸い、口から吐き出す。

2. 首の回旋



左右に首を動かす。

3. 肩の上下運動



肩を上下に動かす。

4. 背筋を伸ばす運動



両手を組んで左右に体幹を傾ける。

5. 頬の膨らまし-へこませ



口に息をためる、ストローで吸うようにすぼめる。

6. 舌を前後左右に動かす



前後運動は口唇を超える程度
左右運動は口角に触れる程度

7. 強く息を吸い込む



息を強く吸う。

8. 発声



- ①「ぱ、ぱ、ぱ」
- ②「た、た、た」
- ③「か、か、か」
- ④「ら、ら、ら」と声を出す。

9. 深呼吸



鼻から息を吸い、口から吐き出す。

新入職員紹介



ひだか ちさみ
医事課 日高 智佐美です
出身地:西之表市
趣味:ドライブ、ゲーム、映画鑑賞
ご迷惑をおかけすることもあります
が、精一杯頑張りますので、よろしく
お願いいたします



たかえす
看護師 高江洲 ゆうです
出身地:東京/4年前に沖縄に移住
趣味:ヨガ、サーフィン
半年間よろしくお願いします。



ふるき なおこ
看護師 古木 直子です
出身地:神奈川県
趣味:音楽
へき地医療に関心がありきま
した。種子島は住みやすい
です。宜しくお願いします。



こが ななみ
医事課 古賀 奈那海です
出身地:鹿児島県
趣味:K-POP
日々勉強して一生懸命頑張りま
す。よろしくお願いします。



はらだ ひろみ
看護師 原田 洋美です
出身地:熊本県
趣味:散歩
よろしくお願いします。



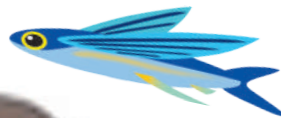
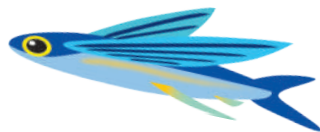
かまだ みずき
看護助手 鎌田 瑞樹です
出身地:国上
趣味:ゲーム、食べること
一生懸命頑張りますのでよろし
くお願いします。



まきの ゆうこ
看護師 牧野 裕子です
出身地:大分県
趣味:映画鑑賞
1日でも早く患者さんの役に
立てるように頑張ります。



おしかわ ともひと
看護師 押川 智仁です
出身地:鹿児島県奄美市
趣味:今も昔も探し中
種子島に花粉が飛ばなくて
本当に嬉しい。来島してか
ら体調がすごくいいので着
て良かったです。よろしくお
願いします。



ふくなが ゆき
看護師 福永 友紀です
出身地:鹿児島市
趣味:ドライブ
頑張ります。よろしくお願い致し
ます。



まの さゆり
看護師 眞野 小百合です
出身地:種子島(現在東京都居住)
趣味:ガーデニング
短期間ですが、故郷の重要な病院
に従事させて頂くことになったので
自己のないように勤めていきます



こいずみ しおり
准看護師 小泉 志織です
出身地:愛媛県
趣味:トレッキング、温泉巡り
大自然が好きで来ました。
綺麗な海が楽しみです。
人見知りですがよろしくお願いします。



看護業務功労者 へ感謝状が贈られました

永年にわたり種子島の医療に貢献して頂き有難うございます。これからも島民の皆様へ、安心した医療が提供できるよう、ご指導、ご協力宜しくお願い致します。

(地域医療連携室 加世田和博)



鹿児島県医師会より、看護業務功労者へ感謝状が贈られました。これは、医師会員の医療機関に勤務する看護職員等で、永年にわたり皆の模範となり、地域医療の推進に貢献された方々に贈られるもので、当センターより、中本利津子さんが表彰されました。

熱中症にはご注意ください！

熱中症は室内でも多く発生しています。

水分もって
エアコンも
扇風機も
使ってくれなー！

体が熱い

頭痛

大量の汗

嘔吐

もうろう

意識が朦朧とする

早めの救急外来受診をお願いします！

社会医療法人 義順顕彰会
種子島医療センター
病院長 高尾 尊身

市政の窓にも
掲載しています！
ぜひ、ご覧ください！



タメになんろーな
見らんばやろー

スタッフ募集

管理栄養士 臨床工学技士 看護師
理学療法士 医療事務 ソーシャルワーカー
放射線技師 システムエンジニア
看護助手 臨床検査技師 言語聴覚士
医師事務作業補助者 薬剤師 作業療法士 総務課

しあわせの医療を
叶えます。



あなたの未来が
(夢)

お問い合わせ
TEL：22-0960
担当：経営企画改善室



社会医療法人 義順顕彰会
種子島医療センター
病院長 高尾 尊身